



Saffil

安全データシート

JIS Z 7253 : 2012 に準ずる
発行日: 2018/04/09 改訂日: 2018/04/09 バージョン: 2.02

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 : Saffil
化学品の名称 : 多結晶ウール (PCW)
製品コード : 371
CAS 番号 : 675106-31-7

推奨用途及び使用制限

推奨用途 : 高温アプリケーションでの工業用。

会社情報

Unifrax Limited
WAll 8LP United KingdomSt Helens, Merseyside
Mill Lane, Rainford
T + 44 (0) 1744 88 7600 - F + 44 (0) 1744 88 9916
reachsds@unifrax.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 労働衛生とケア : 電話 : + 44 (0) 1744 887603、Email: reachsds@unifrax.com (8.15-17.10 h)、言語 : 英語

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

他の危険有害性

分類に寄与しないその他の危険有害性 : 皮膚、目、呼吸器系に機械的刺激を引き起こすことがあります。

3. 組成及び成分情報

化学名 : 多結晶ウール (PCW)

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
多結晶ウール (PCW)	% -				675106-31-7

コメント : PCW は、CAS 番号の組み合わせによっても識別できます。1344-28-1 (繊維状酸化アルミニウム)、7631-86-9 (シリカ、非晶性)、または 1302-93-8 (ムライト)。

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚への刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。

- 水を大量に飲ませる。
- 無理に吐かせないこと。
- 直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 機械的刺激。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 機械的刺激。

その他の医学的アドバイスまたは治療

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 製品は引火性ではない、周辺火災を消火する際は適切な消火薬剤を使用する、泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 消火方法 : 消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
- 消火時の保護具 : 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

6. 漏出時の措置

非緊急対応者

- 保護具 : 使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。
- 応急処置 : 未許可の職員の立ち入り禁止。

緊急対応者

- 保護具 : 十分な換気を確保する。
使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。
- 応急処置 : 取扱いは資格または認可を得た人員のみが行う。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
地下への浸透を避ける。

封じ込め及び浄化方法及び機材

- 浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
粉塵の生成を最小限に減らす。
粉塵は HEPA（高効率微粒子空気）フィルターを含む真空掃除機で吸引できます。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 皮膚、眼との接触を避ける。
指定された個人用保護具を使用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染エリアは徹底的に洗浄する。
作業所の十分な換気を確保する。
- 衛生対策 : 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。

保管

- 安全な保管条件 : 製品は必ず元の容器に保管する。

密封容器に入れ、乾燥した冷暗所に保管する。

共用保管室に関する情報 : 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)		
日本	許容濃度(産衛学会)	1 fibers/m ³ 長さ > 5 μm 直径 < 3 μm アスペクト比 ≥ 3:1 (メンブレンフィルター法により 400 位の位相差照明で測定した)

手の保護具 : 適切な保護手袋。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。粉塵が発生した場合 : 短期暴露。(FFP2)。

その他の情報 : 汚染された衣類は洗浄する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 固体

外観 : 繊維

色 : 白色

臭い : 無臭

pH : 非該当

融点 : > 1800 ° C

沸点 : 非該当

引火点 : 非該当

蒸気圧 : 非該当

密度 : 3 - 3.5 g/cm³

水 : < 1 mg/l

Log Kow : 非該当

動的粘度 : 非該当

動粘性率 : 非該当

その他の性質 : 製品に含まれる繊維の長さ加重幾何平均径 : 3-4 μm。

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用条件下では安定。

化学的安定性 : 製品は通常の使用条件下での取扱いおよび保管において安定である。

危険有害反応可能性 : 危険な反応は一切見られない。

避けるべき条件 : 追加情報なし。

混触危険物質 : なし。

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

その他の情報

: 慢性的な影響:
ラットの生存期間中に行われた多結晶繊維吸入試験では、試験した最大用量レベルでは、肺癌、肺線維症、またはその他の重大な有害作用の徴候は見られませんでした。ラットにおける腹腔内、気管内、胸膜内試験および2つの in vitro 試験はすべて陰性の結果を示しました。いくつかの試験の限界にもかかわらず、動物研究において一貫して発がん性の応答が見られなかったことに注目することが重要です。

1988年、国際がん研究機関（IARC）は、いくつかの繊維グループの発がん性を検討しました。彼らが検討したグループの1つは、異種繊維タイプ[多結晶繊維、耐火性セラミック繊維（RCF）、単結晶ウィスカー]の集合を、「セラミック繊維」と呼ばれる広範な単一のカテゴリーに分類する不十分な定義でした。IARCのモノグラフは、多結晶繊維に特有の試験データは陰性であることを明確に示していました。しかし、IARC分類の原則によれば、他の繊維タイプで陽性の結果となれば、グループ内のすべての繊維をヒト発がん性物質とみなすというものでした（IARC分類2B）。MMVF（2002年）に続くモノグラフでは、IARCは多結晶繊維を再評価しませんでした。米国国家毒性プログラム（NTP）（最新版）が作成した発ガン物質に関する年次報告書は、「セラミック繊維（吸入可能なサイズ）」を発がん物質であるとみなされるに分類しています。

製造時、Saffilを含むほとんどの多結晶繊維は、吸入可能なサイズとしては繊維の直径が大きすぎます。多くの科学研究は、吸入可能な繊維の潜在的な毒性は、生物持続性（繊維が肺から除去されるのに要する時間）に直接関連することを示唆しています。擬似肺液中の繊維の溶解速度を測定する限定された in vitro 試験分析に基づいて、多結晶繊維は比較的持続性があることが知られています。

多結晶ウール（PCW）労働者の呼吸器調査研究のデータは入手できません。過去にRCFおよびその他繊維にPCWと一緒に曝露した労働者の小集団では、胸部X線写真での間質性肺疾患の証拠も、肺機能検査における肺機能の喪失の加速化もありませんでした。症状の反応は、PCWへの曝露に起因するものでも、それを除外するものではなく、それ以前の繊維への曝露の結果です。

急性毒性（経口）	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
急性毒性（経皮）	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
急性毒性（吸入）	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない) pH: 非該当。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない) pH: 非該当。
呼吸器感作性	: 区分外。
皮膚感作性	: 区分外。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
生殖細胞変異原性	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
発がん性	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
生殖毒性	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分外。 (利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分外。
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
- 吸引性呼吸器有害性 : 区分外。
(該当しない)

12. 環境影響情報

- 生態系 - 全般 : 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
水生環境(急性) : 区分外。
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
- 水生環境(慢性) : 区分外。
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
Log Kow	非該当

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
残留性・分解性	非該当。

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
Log Kow	非該当
生体蓄積性	生物蓄積性の可能性はほとんどなし。

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
土壌中の移動性	追加情報なし
Log Kow	非該当

- オゾン層への有害性 : 区分外。
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 国、地域の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
国連番号				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
国連正式品名				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
容器等級				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
環境有害性				
環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ 海洋汚染物質 : いいえ	環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ

海洋汚染物質 : いいえ
国内規制
その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

規則参照 : 収載あり—日本 ENCS (既存化学物質) インベントリー

16. その他の情報

参考文献 : ECHA (欧州化学機関)。
その他の情報 : Occupational Hygiene: dawn.webster@unifrax.com。

改訂情報

その言語/スタンドバージョン (S) 1.00 - 2.01 で利用可能では使用できません。

本資料に記載されている情報は、この安全データシートの発効日時点で信頼でき、正確であると考えられています。雇用者は本 SDS を使用して、従業員の健康と安全と製品の適切な使用を保証するために、収集した他の情報を補うことができます。関連データのこの要約は、専門的判断を反映しています。雇用主は、関連がないとみなされる情報は、この SDS に含まれていないことに注意してください。したがって、この文書の要約的性質を考慮して、Unifrax I LLC は、この情報の完全性またはユーザーが想定する目的に対する適合性に関して（明示または黙示を問わず）、いかなる責任も負わず、また表明を行うこともありません。